

2022 年 12 月 18 日（日）環境日本一仙台を目指す

市民フォーラムⅠワークショップにて出された参加者の意見

テーマ「気候危機回避に向け、今こそ行動しよう！」

2030 年までに CO2 を 50%以上削減するには現在の社会構造を化石燃料や原発に依存しない構造にしないといけない。

そのために A：市民にできること

- ・省エネ家電を使用する。（古い家電は省エネ家電にする。）
- ・エネルギーの無駄遣いをしない。
- ・住宅やアパートを新築する場合は ZEH にする。
- ・既存住宅の屋根にも PV を取り付ける。
- ・自家用車は EV にして PV の電力を充電する。
- ・暖房は薪ストーブやペレットストーブにする。
- ・早寝早起き。
- ・自家用車の使用を避ける。（公共交通、自転車、徒歩）
- ・ごみの削減（分別の徹底、生ごみは土へ）
- ・水道水を節約する。（雨水の利用）
- ・夏場のエアコン使用を減らす。（植栽、日除け）
- ・緑を増やす工夫。緑を減らさない工夫。

そのために B：仙台市への要望

- ・緑化の促進
- ・森林への再生可能エネルギー設置の規制
- ・EV への充電設備の充実（次世代型高速充電設備）
- ・個人宅への再生可能エネルギー導入についての補助金拡大
（太陽光発電の場合 3 万円/Kw 当り）
- ・有機性廃棄物を焼却せずにメタン発酵させてエネルギーと肥料をつくる。
- ・仙台市の所有する建物に太陽光発電設備を設置する。
- ・ダム湖や溜池などに浮体式の太陽光発電設備を設置する。
- ・環境市民団体との意見交換をしてほしい。
- ・建物の ZEH 化や ZEB 化を推進する施策をしてほしい。